

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2436 号

Leisure-time physical activity in youth as a predictor of adult leisure physical activity among Japanese workers: a cross-sectional study

(日本人労働者の余暇の身体活動の予測因子としての若年期の余暇の身体活動：横断研究)

伊藤 弘明 (いとう ひろあき)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、子ども～青年期の余暇の身体活動習慣が日本人労働者の余暇の身体活動習慣の有意な予測因子であることを初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。

身体活動レベルが高いと様々な生活習慣病の罹患リスクが低下することが近年注目されているが、それではどうすれば多忙な労働者の余暇の身体活動習慣を形成できるのかはよくわかっていなかった。本論文では職域における横断研究を実施し、子ども～青年期の余暇の身体活動経験が労働者の現在の余暇の身体活動習慣形成に影響を及ぼすことを示した。研究規模は十分大きく、男女別の解析に耐えるデータである。若年期の余暇の身体活動について自記式質問紙を用いて評価し、労働者の現在の余暇の身体活動習慣との関連を、多重ロジスティック回帰分析により交絡を取り除いて解析している。その結果、12歳時に激しい運動をしていた男性はしていなかった男性に比べて現在の余暇の身体活動習慣を約2倍形成しやすい関連を認めた。ほかに、女性における高校(高専)時代および短大・大学時代の運動部所属経験、20歳時に中程度の運動や激しい運動をしていたこと(男女とも)が労働者の現在の余暇の身体活動習慣形成にプラスの影響を及ぼすことを示唆した。労働者の余暇の身体活動習慣を形成するには、若い時期の余暇の身体活動経験が重要である可能性が十分に認められる。疫学研究データに基づく本論文の主張は論理的で説得力がある。

よって、本論文は博士(医学)の学位を授与するに値するものと判定した。